

奄美医療生協組合員の皆様へ

コロナ禍を乗り越え、経営を守るために増資運動にご協力をお願いします

この度、奄美中央病院での新型コロナウイルス感染症による院内感染で患者様、及びご家族、組合員の皆様方に多大なるご迷惑、ご心配をお掛けし深くお詫び申し上げます。また組合員の皆様方には、奄美医療生活協同組合を様々に支えていただき誠にありがとうございます。

10月18日より一般外来及び予約入院受入れの再開、25日より緊急入院の受入が再開となりました。有熱者及び症状の有無の確認・判断の実施、院内不織布マスク着用のお願、新規入院患者に対してコロナ抗原検査・PCR検査を行い入院後1週間は健康観察を行うなど徹底した感染対策を行います。

組合員の皆様に安心してご利用いただけるよう、今後も感染対策に万全を期して参ります。

これまでのコロナ禍の影響が大きく、多くの医療機関と同様に外来受診控えや介護の利用控え、健診の延期などで収入は激減しています。加えて感染対策関連費用の増加も加わり、経営的にも大変厳しい状況が続いています。また、職員の心身への負担も大きく休暇保障やメンタルヘルス対策も欠かせません。

事業所管理者をはじめとした職員一同及び法人理事会としても様々な手立てを尽くしているところですが、事業所を継続・発展させるためにも出資金増資による経営基盤の強化がどうしても必要です。

経営を守ることは、医療従事者を守り、地域の医療・介護を守り、ひいては私たちが目指す安心して住み続けられるまちづくりをすすめることにつながります。

「秋の生協強化特別月間」の出資金増資運動に組合員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

2021年10月

奄美医療生活協同組合

理事長 杉原 雄治

奄美中央病院

院長 福崎 雅彦